



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エンプラス
コード番号 6961 URL <https://www.enplas.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員 (氏名) 藤田 慈也 TEL 03-6268-0259
財務経理本部 本部長
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,715	△4.0	1,412	△27.9	1,681	△21.4	735	△51.0
2023年3月期第1四半期	10,115	22.9	1,958	124.5	2,138	178.5	1,502	231.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,360百万円 (△33.3%) 2023年3月期第1四半期 3,537百万円 (719.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	83.42	82.79
2023年3月期第1四半期	170.44	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	56,640	49,310	85.8	5,506.48
2023年3月期	54,599	47,307	85.3	5,276.10

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 48,580百万円 2023年3月期 46,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	30.00	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	19,500	△7.6	2,700	△38.0	2,700	△40.1	1,900	7.8	215.36
通期	42,500	0.6	7,000	△20.6	7,000	△20.3	5,000	8.2	566.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	9,732,897株	2023年3月期	9,732,897株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	910,525株	2023年3月期	910,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	8,822,407株	2023年3月期1Q	8,815,979株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2023年7月28日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、供給制約の緩和や中国の経済再開などが景気を底上げしているものの、金融引き締めが急ピッチで進められたことで、減速が続いております。

米国においては、良好な雇用情勢を背景に個人消費は底堅く推移している一方、金融引き締めにより製造業の景況感は低迷が続いております。

中国においては、ゼロコロナ政策の解除を機にサービス消費を中心とした個人消費の回復傾向が続いているものの、サービス消費以外の需要の不振や輸出の低迷により景気が減速しております。

新興国・地域においては、ハイテク製品の世界的な需要低迷により輸出の低迷は続いているものの、個人消費の回復を背景に景気は持ち直しの動きが見られます。

わが国経済は、供給制約の緩和や経済活動の正常化、サービス消費の拡大により、景気は緩やかに回復しております。

このような状況の中、当社が関連する市場においては、サプライチェーンの混乱による顧客の生産調整は解消傾向にあるものの、世界経済の減速や半導体需要の低迷など、依然として不透明な状況が継続しております。

当社は、顧客のニーズに対して当社グループの技術やソリューション提案力の強みを繋げることにより、課題の解決を通し社会に貢献するとともに、新規事業創出の機会としてまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は9,715百万円（前年同期比4.0%減）となり、営業利益は1,412百万円（前年同期比27.9%減）、経常利益は1,681百万円（前年同期比21.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は735百万円（前年同期比51.0%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

「Semiconductor事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、自動車用途は堅調に推移したものの、サーバー用途、モバイル用途は市場の落ち込みが継続し、売上高は低調に推移しました。今後、半導体需要の調整はあるものの、特に当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は中期的には増加傾向が続くと予想され、それに伴い当社の売上高も堅調に推移すると見込んでおります。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,674百万円（前年同期比17.5%減）、セグメント営業利益は852百万円（前年同期比41.4%減）となりました。

「Life Science事業」

遺伝子検査用製品は、顧客の生産調整により売上高は低調に推移したものの、今後も遺伝子検査市場の拡大に合わせて、主要顧客からの既存量産製品と新規プロジェクトの受注、新規顧客開拓、新製品の開発に注力する事で、当社の売上高も堅調に推移すると見込んでおります。なお、当該Life Science事業には、新規分野への先行投資や新事業開発が含まれております。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は608百万円（前年同期比23.0%減）、セグメント営業損失は356百万円（前年同期は107百万円のセグメント営業損失）となりました。

「Digital Communication事業」

光通信関連の光学デバイスは、AI用途等のハイエンド領域において売上高は好調に推移しました。LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少が継続し、売上高は低調に推移しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,443百万円（前年同期比53.5%増）、セグメント営業利益は782百万円（前年同期比119.6%増）となりました。

「Energy Saving Solution事業」

自動車用部品は自動車の生産回復により売上高は堅調に推移しました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,989百万円（前年同期比9.8%増）、セグメント営業利益は133百万円（前年同期比47.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は56,640百万円となり、前連結会計年度末比2,040百万円の増加となりました。

流動資産につきましては1,435百万円増加しました。主な変動要因は未収消費税等で840百万円減少したものの、現金及び預金で1,817百万円、受取手形及び売掛金で352百万円増加したことによるものです。

固定資産につきましては604百万円増加しました。主な変動要因は有形固定資産で608百万円増加したことによるものです。

負債は7,329百万円となり、前連結会計年度末比36百万円の増加となりました。

流動負債につきましては92百万円減少しました。主な変動要因は買掛金で227百万円、その他で336百万円増加したものの、賞与引当金で336百万円、未払金で251百万円、未払法人税等で128百万円減少したことによるものです。

固定負債につきましては129百万円増加しました。主な変動要因はリース債務で135百万円増加したことによるものです。

純資産は49,310百万円となり、前連結会計年度末比2,003百万円の増加となりました。主な変動要因は、為替換算調整勘定で1,507百万円、利益剰余金で471百万円増加したことによるものです。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は85.8%となり、前連結会計年度末比で0.5ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月28日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,766	22,583
受取手形及び売掛金	9,874	10,227
製品	1,201	1,215
仕掛品	724	721
原材料及び貯蔵品	2,753	2,893
未収消費税等	1,067	227
未収還付法人税等	79	115
その他	995	1,074
貸倒引当金	△24	△184
流動資産合計	37,438	38,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,448	3,511
機械装置及び運搬具(純額)	2,133	2,298
工具、器具及び備品(純額)	1,162	1,106
土地	6,838	6,862
使用権資産(純額)	1,320	1,455
建設仮勘定	364	642
有形固定資産合計	15,268	15,877
無形固定資産		
ソフトウェア	142	160
その他	77	69
無形固定資産合計	220	229
投資その他の資産	1,671	1,658
固定資産合計	17,161	17,765
資産合計	54,599	56,640

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,162	1,390
リース債務	290	308
未払金	1,268	1,017
未払費用	635	621
未払法人税等	1,166	1,038
契約負債	151	152
賞与引当金	828	491
転貸損失引当金	25	27
役員賞与引当金	68	20
災害損失引当金	—	101
その他	319	656
流動負債合計	5,918	5,825
固定負債		
リース債務	1,054	1,190
退職給付に係る負債	83	83
繰延税金負債	27	24
転貸損失引当金	57	55
その他	150	149
固定負債合計	1,373	1,503
負債合計	7,292	7,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	1,998	1,998
利益剰余金	36,182	36,653
自己株式	△3,276	△3,277
株主資本合計	42,984	43,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	157
為替換算調整勘定	3,460	4,967
その他の包括利益累計額合計	3,563	5,125
新株予約権	53	71
非支配株主持分	705	659
純資産合計	47,307	49,310
負債純資産合計	54,599	56,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	10,115	9,715
売上原価	5,432	5,171
売上総利益	4,682	4,544
販売費及び一般管理費	2,724	3,132
営業利益	1,958	1,412
営業外収益		
受取利息	4	75
受取配当金	7	7
為替差益	250	189
スクラップ売却益	15	22
その他	16	6
営業外収益合計	294	302
営業外費用		
支払利息	13	17
持分法による投資損失	98	—
その他	1	15
営業外費用合計	114	33
経常利益	2,138	1,681
特別利益		
固定資産売却益	12	21
特別利益合計	12	21
特別損失		
固定資産売却損	1	0
事業再構築費用	—	30
貸倒引当金繰入額	—	157
災害損失引当金繰入額	—	101
特別損失合計	1	289
税金等調整前四半期純利益	2,148	1,413
法人税、住民税及び事業税	509	558
法人税等調整額	81	99
法人税等合計	590	657
四半期純利益	1,558	756
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,502	735

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,558	756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	53
為替換算調整勘定	2,104	1,550
持分法適用会社に対する持分相当額	△111	—
その他の包括利益合計	1,979	1,603
四半期包括利益	3,537	2,360
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,443	2,297
非支配株主に係る四半期包括利益	93	63

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。